



## 加温毛布 取扱説明書

認証番号 : 225AIBZX00047000

### はじめに

このたびは、ホットドッグ患者加温システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」には、ホットドッグ患者加温システムを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- ・ホットドッグ患者加温システムをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」およびコントローラー、加温マットレスの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- ・この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- ・お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ・ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

加温毛布は、ホットドッグ患者加温システムのアクセサリです。本説明は次のカタログ番号に適用されます。

ホットドッグ-アクセサリ	カタログ番号	数/パッケージ	
加温毛布、下半身	B103	1	
加温毛布、全身	B104	1	
加温毛布、多位置	B105	1	
加温毛布、胴体	B110	1	

ホットドッグ用加温毛布ケーブルは個別に提供されます。

### 使用方法

ホットドッグ患者加温システムは、患者を加温することで低体温の防止を目的としています。ホットドッグ患者加温システムは、患者が正常体温の状態を維持できない状況で使用されます。ホットドッグ患者加温システムは、手術室、リカバリー室、救急処置室や医療/外科病棟など主に病院などで使用されることを意図しています。

### 禁止

- ・ 大動脈クランプ中の末梢部分、または血管収縮剤による深刻な長期的血管収縮の可能性がある場合など局所虚血部位や非灌流部位を温めないでください。熱傷害のおそれがあります。
- ・ 経皮的治療を受けている患者さんにはホットドッグ患者加温システムを使用しないでください。薬が過剰に行き渡る危険があります。

### 警告

- ・ 爆発注意 – 可燃性の麻酔薬がある場所や、高圧室や酸素テントなど、高酸素濃度の環境では加温毛布を使用しないでください。
- ・ 加温毛布を患者さんの下に敷いて使用しないでください。加温毛布が破損・変形して、けがをするおそれがあります。
- ・ 使用する前に傷、穴、電気の接続が悪いところなどの、破損や摩耗の兆候がないか点検してください。電装品のショートや漏電による感電・火災や製品の变形による動作の異常などによって、けがをするおそれがあります。破損や顕著な摩耗がある場合は、使用を中止し、販売店に問い合わせてください。

- 過熱表示や警報音がリセット後も鳴り続ける場合、ホットドッグ患者加温システムを継続使用しないでください。異常動作して、けがをするおそれがあります。
- 患者さんを手術台に固定する際に使用している抑制帯などの下に加温毛布を入れないでください。加温毛布が破損・変形して、けがをするおそれがあります。
- ホットドッグ用加温毛布は殺菌されていません。清潔さを保つため、お手入れを行ってください。お手入れを行わないと、感染のおそれがあります。
- WC5X 型のコントローラー以外のものと併用しないでください。異常動作して、けがをするおそれがあります。

### 使用上の注意

- 臨床医の直接の指示のもとで使用してください。思わぬけがをするおそれがあります。
- ホットドッグ患者加温システムを使用している間は、病院内の手順に従って常に患者さんのバイタルサインを監視してください。病状が悪化するおそれがあります。不安定なバイタルサインになった場合は、臨床医に連絡してください。
- 複数の加温方法を行う際は注意が必要です。症状が悪化するおそれがあります。
- 外科手術用プレップ液の貯留による皮膚への刺激のリスクは、温めることにより増加する可能性があります。外科手術用プレップ液の使用法に従うよう留意してください。
- 加温毛布は印字されたセンサーマークが患者さんの身体に触れるようにしてください。
- 使用中に加温毛布を折ったりしわにしたりしないでください。重なった部分に局所的な熱が滞留し、けがをするおそれがあります。
- 常に、患者保護具（使い捨てシーツや薄いベッドシーツなど）を患者さんと加温毛布の間に使用してください。熱傷のおそれがあります。
- X 線撮影の際には加温毛布の配置に注意してください。印字や内部の配線は基本的に毛布の端に沿っており、画像に映り込む可能性があります。

### 取扱い説明

1. 加温毛布の表面に損傷（傷、穴、電気の接続不良など）がないかどうか点検してください。加温毛布に損傷がある場合は使用しないでください。
2. 薄いベッドシーツなどを患者さんの上にかけてください。
3. 加温毛布を患者保護具の上に乗せ、加温毛布の加温面（黒い側）が患者さんに向くようにしてください。毛布の加温部は非加温面に「加温エリア」の記号で示されています。（「記号の定義」の項をご参照ください。）

注意：加温毛布を患者さんの下に置かないでください。また、使用中には毛布の加温（黒色）面を丸めたり折りたたんだりしないでください。
4. 加温毛布の温度センサー（白い箇所）が患者さんと正しく接触していることを確認してください。
5. 該当する毛布の種類に対する下記の説明に従い、加温毛布の位置を決め、固定してください。

効果的な位置に置くために、毛布の紫色面を折り返しても問題ありません。

毛布種類	毛布の位置/固定の説明
下半身 全身	<ul style="list-style-type: none"> <li>できる限り患者さんの周囲に毛布の非加熱部分やシーツを挟み込んで加温毛布を固定してください。</li> </ul>
多位置	<ul style="list-style-type: none"> <li>付属のマルチポジション再利用可能ストラップ、ベルクロストラップやテープで患者さんに加温毛布を固定してください。</li> <li>毛布のセグメントを、毛布のセグメントの内部についている各ボタンとループコネクターを使って接続してください。ボタンとループを一緒にし、2つのセクションを固定します。</li> </ul>
胴体	<ul style="list-style-type: none"> <li>毛布と患者さんの胸、腕、肩が正しく接触するよう患者さんの上の加温毛布の位置を決めてください。</li> <li>患者さんの首と肩まわりに非加熱部分を挟み込んでください。</li> </ul>

6. 電気ケーブルの片側をホットドッグ用コントローラーの適当なポートに差し込んでください。

コントローラーの型番	ポート
WC5X	A または B

7. ケーブルの片側を加温毛布上の電気端子に挿入してください。
8. ホットドッグ用コントローラーの電源を入れ、温度を選び、加温を始めます。加温毛布が設定した温度になるまで最大 10 分間お待ちください。(ホットドッグ用コントローラーの取扱い説明書をご参照ください。)
9. 加温毛布接続時にホットドッグ用コントローラーの警報が鳴った場合、加温毛布の使用を中止してください。(「警報」の項をご参照ください。)
10. 加温毛布を使い終わった時には、加温毛布を必要に応じて清掃してください。(以下の「お手入れと保守」の項をご参照ください。)

## お手入れと保守

- 加温毛布を表示された使用期限を超えて使用し続けしないで下さい。
- 洗濯や殺菌は加温毛布を損傷させるおそれがあるので行わないでください。
- 加温毛布を液体に浸さないでください。
- 加温毛布の清掃に強力な消毒液(例えば、グルタルアルデヒド、過酢酸)は使用しないでください。
- 接点部に洗浄液を吹きかけないでください。
- 取扱い説明書で推奨されていない清掃や消毒液については販売代理店に問い合わせてください。
- 傷、穴、接触不良といった、破損や摩滅の兆候がある場合は、使用を中止し、販売代理店に問い合わせてください。
- 加温毛布を分解しないでください。サービス可能な部品はありません。もし修理が必要な場合、販売代理店に問い合わせてください。

## 保管

加温毛布は、乾燥した場所で、傷つけられる恐れのないところに保管してください。毛布は折りたたんで保管するか、毛布の端に沿って設けられている穴を使って吊り下げ金具にかけることもできます。

## 清掃—全体

1. 洗浄剤が電気端子に入らないようにしてください。
2. 目に見える汚れがある場合、消毒をする前に取り除いてください。やわらかいブラシかスポンジを用いて洗剤で目的の箇所を洗い、汚れを取り除きます。濡らした布を使い、加温毛布の表面の洗剤を落とします。加温毛布を水に浸さないでください。
3. 中低水準の消毒液を加温毛布全体に吹きつけるかそれで拭きます。消毒を確実にを行うため消毒液の取扱い説明書に従ってください。
4. 使用前にしっかりと乾かしてください。

**注意:加圧滅菌器、滅菌器、自動洗浄消毒機や  
その他の高温の機械の中に加温毛布を入れないでください。製品が損傷するおそれがあります。**

## 清掃と消毒の方法
























以下の清掃方法は一般的なものであり、病院所定の手順に置き換わるものではありません。

5. 洗浄剤が電気端子に入らないようにしてください。
6. 目に見える汚れがある場合、消毒をする前に取り除いてください。やわらかいブラシかスポンジを用いて洗剤で目的の箇所を洗い、汚れを取り除きます。濡らした布を使い、毛布の表面の洗剤を落とします。毛布を液体に浸さないでください。
7. 中低水準の消毒液を毛布全体に吹きつけるかそれで拭きます。消毒を確実にを行うため、消毒液の取扱い説明書に従ってください。
8. 使用前にしっかりと乾かしてください。

## 警報

加温毛布が設定値を1度越えるか、その他故障が生じると、警報が鳴り、警報が出ている所のコントローラー警告灯が赤く光ります。コントローラーは自動的に加温毛布への動力供給を停止します。作動温度に回復すると、警報は止み、通常作動が再開されます。警告灯が継続的に光り、警報が鳴り続ける場合、コントローラーの主電源を切り、コントローラーから加温毛布を外してください。コントローラーが過剰な電流を感知すると、警報が鳴り、警告灯が点灯します。すべてのポートで電力が切られ、コントローラーを切って初期化が必要となります。コントローラーを初期化した後、全警告灯が点いた場合、加温毛布の使用を止めてください。

**記号の意味**

	患者さんの下に置かないでください		こちらの面が下		こちらの面が上
	注意、付属の文書を参照してください。		加温エリア		IEC60601-1 に従う BF 患者適用部品
	シリアル番号		参照番号		ロット番号
	製造日		ホットドッグ用コントローラーとのみ使用してください。		取扱い説明書に従って保管してください。
	温度センサー		濡らさないでください。		European Medical Device Directive 93/42/EEC に適合しています。
	輸送と保管湿度範囲		輸送と保管温度範囲		販売店に連絡
	ラテックス不使用		無菌ではありません。		尖ったものが刺さらないよう保護してください。製品に傷や損傷がある場合、使用を中止してください。
	使用期限		製造業者		

**製造元:**

Augustine Temperature Management  
 6581 City West Parkway  
 Eden Prairie, MN 55344 USA  
 電話 952.465.3500  
 FAX 952.465.3501  
[www.hotdogwarming.com](http://www.hotdogwarming.com)

**EU 認定代表者:**

Emergo Europe  
 Molenstraat 15  
 2513 BH The Hague  
 オランダ  
 電話: (31) (0) 70 345-8570  
 ファックス: (31) (0) 70 346-7299

HotDog は Augustine Temperature Management の商標で、米国特許商標庁に登録されています。特許出願中。

©2010 Augustine Temperature Management. 不許複製・禁無断転載。